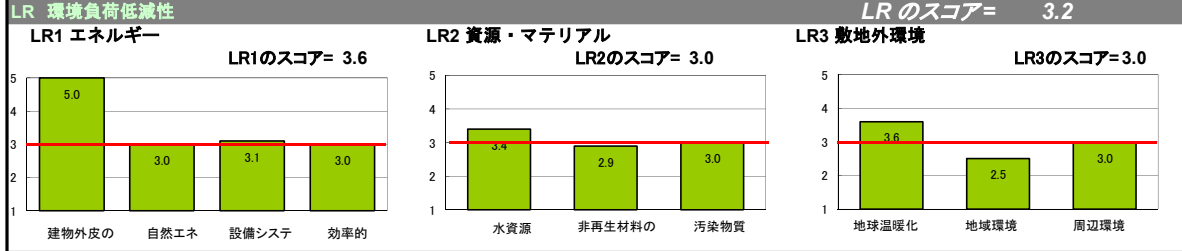
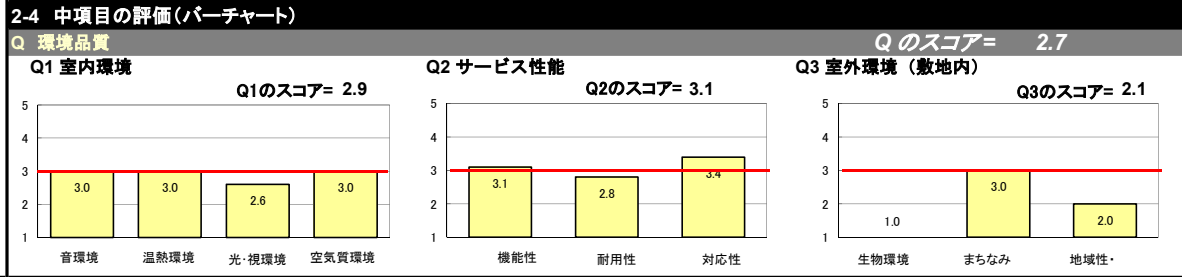
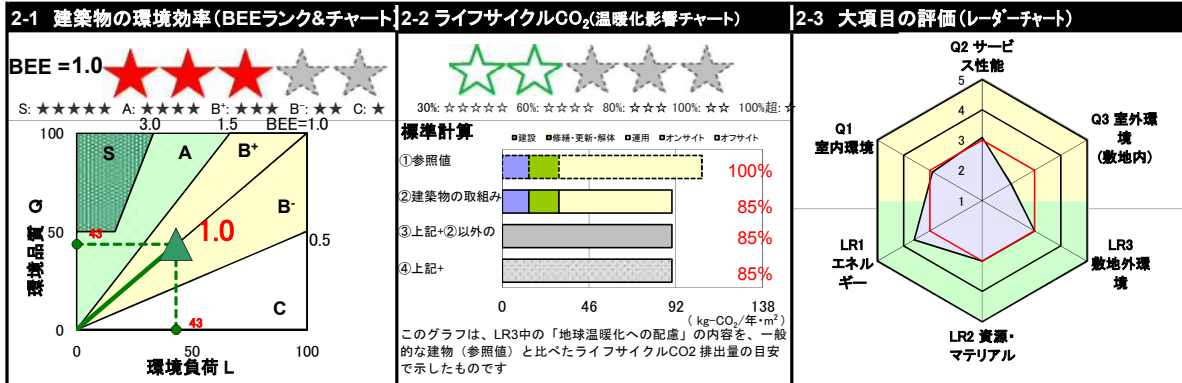


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)三河安城南町一丁目ビル新築	階数	地上8F
建設地	愛知県安城市三河安城南町1丁目3	構造	S造
用途地域	都市計画区域内(市街化区域)・準防	平均居住人員	360 人
気候区分	6地域	年間使用時間	2,920 時間/年
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年3月 予定	評価の実施日	2018年1月15日
敷地面積	1,120 m <sup>2</sup>	作成者	保坂 逢里
建築面積	557 m <sup>2</sup>	確認日	2018年1月15日
延床面積	4,459 m <sup>2</sup>	確認者	須田 敏明



### 3 重点項目

<h4>①地球温暖化への配慮</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">3.6</p>	<h4>③敷地内の緑化</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">1.0</p> <p>外構緑化指数 (外構緑化面積/外構面積)</p> <p style="text-align: center;">5.2 %</p> <p>建物緑化指数 (建物緑化面積/建築面積)</p> <p style="text-align: center;">0.0 %</p>
<h4>②資源の有効活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">2.9</p>	<h4>④地域材の活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">1.0</p> <p>&lt;外装材に使用した地域性のある材料&gt;</p> <p>なし</p> <p>&lt;建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材&gt;</p> <p>なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮  
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用  
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性  
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化  
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 =  $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 =  $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート	実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄					建物全体・共用部			建物全体・共用部		共用部		宿泊		住居・宿泊部分		全体	
	配座項目	独自基準 重点項目	評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数	評価点		評価点
Q 建築物の環境品質																				2.7
Q1 室内環境																				2.9
1 音環境																				3.0
1.1 室内騒音レベル																				3.0
1.2 遮音																				3.0
1 開口部遮音性能																				3.0
2 界壁遮音性能																				3.0
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)																				3.0
4 界床遮音性能(重量衝撃源)																				3.0
1.3 吸音																				3.0
2 温熱環境																				3.0
2.1 室温制御																				3.0
1 室温																				3.0
2 外皮性能																				3.0
3 ソーン別制御性																				3.0
2.2 湿度制御																				3.0
2.3 空調方式																				3.0
3 光・視環境																				2.6
3.1 昼光利用																				1.8
1 昼光率																				0.15
2 方位別開口																				1.0
3 昼光利用設備																				3.0
3.2 グレア対策																				3.0
1 昼光制御																				3.0
3.3 照度																				3.0
3.4 照明制御																				3.0
4 空気環境																				3.0
4.1 発生源対策																				3.0
1 化学汚染物質																				3.0
4.2 換気																				3.0
1 換気量																				3.0
2 自然換気性能																				3.0
3 取り入れ外気への配慮																				3.0
4.3 運用管理																				3.0
1 CO <sub>2</sub> の監視																				3.0
2 喫煙の制御																				3.0
Q2 サービス性能																				3.1
1 機能性																				3.1
1.1 機能性・使いやすさ																				3.0
1 広さ・収納性																				3.0
2 高度情報通信設備対応																				3.0
3 バリアフリー計画																				3.0
1.2 心理性・快適性																				3.3
1 広さ感・景観(天井高)																				2.7m
2 リフレッシュスペース																				給湯室(1パーセント以上)、自販機コーナーあり
3 内装計画																				1.0
1.3 維持管理																				3.0
1 維持管理に配慮した設計																				3.0
2 維持管理用機能の確保																				3.0
2 耐用性・信頼性																				2.8
2.1 耐震・免震・制震・制振																				3.0
1 耐震性(建物のこわれにくさ)																				3.0
2 免震・制震・制振性能																				3.0
2.2 部品・部材の耐用年数																				2.9
1 躯体材料の耐用年数																				3.0
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔																				2.0
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔																				5.0
4 空調換気ダクトの更新必要間隔																				3.0
5 空調・給排水配管の更新必要間隔																				3.0
6 主要設備機器の更新必要間隔																				3.0
2.4 信頼性																				2.4
1 空調・換気設備																				3.0
2 給排水・衛生設備																				2.0
3 電気設備																				3.0
4 機械・配管支持方法																				3.0
5 通信・情報設備																				1.0

<b>3 対応性・更新性</b>					3.4	0.29				3.4
<b>3.1 空間のゆとり</b>					4.6	0.31				
1 階高のゆとり			階高4m		5.0	0.60				
2 空間の形状・自由さ			94.92/545.46=0.17		4.0	0.40				
<b>3.2 荷重のゆとり</b>					3.0	0.31				
<b>3.3 設備の更新性</b>					3.0	0.38				
1 空調配管の更新性		②			3.0	0.17				
2 給排水管の更新性					3.0	0.17				
3 電気配線の更新性					3.0	0.11				
4 通信配線の更新性					3.0	0.11				
5 設備機器の更新性					3.0	0.22				
6 バックアップスペースの確保					3.0	0.22				
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>					-	0.30				2.1
1 生物環境の保全と創出		独自③			1.0	0.30				1.0
2 まちなみ・景観への配慮		独自④			3.0	0.40				3.0
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>					2.0	0.30				2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		独自④			2.0	0.50				
3.2 敷地内温熱環境の向上					2.0	0.50				
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>										3.2
<b>LR1 エネルギー</b>					-	0.40				3.6
1 建物外皮の熱負荷抑制			BPIm0.79		5.0	0.30				5.0
2 自然エネルギー利用					3.0	0.20				3.0
3 設備システムの高効率化			BEIm0.79		3.1	0.30				3.1
4 効率的運用					3.0	0.20				3.0
集合住宅以外の評価					3.0	1.00				
4.1 モニタリング					3.0	0.50				
4.2 運用管理体制					3.0	0.50				
集合住宅の評価					-	-				
4.1 モニタリング					-	-				
4.2 運用管理体制					-	-				
<b>LR2 資源・マテリアル</b>					-	0.30				3.0
<b>1 水資源保護</b>					3.4	0.15				3.4
1.1 節水			節水型便器		4.0	0.40				
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					3.0	0.60				
1 雨水利用システム導入の有無					3.0	0.67				
2 雑排水等利用システム導入の有無					3.0	0.33				
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>					2.9	0.63				2.9
2.1 材料使用量の削減					2.0	0.07				
2.2 既存建築躯体等の継続使用					3.0	0.25				
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		②			3.0	0.21				
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		独自	パーティクルボード		3.0	0.21				
2.5 持続可能な森林から産出された木材					-	-				
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		独自			3.0	0.25				
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>					3.0	0.22				3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用					3.0	0.32				
3.2 フロン・ハロンの回避					3.0	0.68				
1 消火剤					-	-				
2 発泡剤(断熱材等)					3.0	0.50				
3 冷媒					3.0	0.50				
<b>LR3 敷地外環境</b>					-	0.30				3.0
1 地球温暖化への配慮		①	93パーセント		3.6	0.33				3.6
<b>2 地域環境への配慮</b>					2.5	0.33				2.5
2.1 大気汚染防止					3.0	0.25				
2.2 温熱環境悪化の改善					2.0	0.50				
2.3 地域インフラへの負荷抑制					3.2	0.25				
1 雨水排水負荷低減		独自			3.0	0.25				
2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.25				
3 交通負荷抑制		独自	駐車場が充実		4.0	0.25				
4 廃棄物処理負荷抑制					3.0	0.25				
<b>3 周辺環境への配慮</b>					3.0	0.33				3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.40				
1 騒音		独自			3.0	0.33				
2 振動		独自			3.0	0.33				
3 悪臭					3.0	0.33				
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制					3.0	0.40				
1 風害の抑制					3.0	0.70				
2 砂塵の抑制					-	-				
3 日照障害の抑制					3.0	0.30				
3.3 光害の抑制					3.0	0.20				
1 屋外照明及び屋内照明のうらみに漏れる光への対策					3.0	0.70				
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策					3.0	0.30				

# 重点項目スコアシート

(仮称)三河安城南町一丁目ビル新築工事

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

■評価ソフト:

CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)\_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
<b>① 地球温暖化対策</b>				<b>3.6</b>
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.6	0.10	
<b>② 資源の有効活用</b>				<b>2.9</b>
Q2-2	耐震性・信頼性	2.8	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.4	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.9	0.19	
<b>③ 敷地内の緑化</b>				<b>1.0</b>
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.09	外構緑化:5.2%/建物緑化:0%
<b>④ 地域材の活用</b>			(評価ポイント)	<b>1.0</b>
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

## ■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

## ■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 (仮称)三河安城南町一丁目

計画上の配慮事項	
総合	利用者が利用しやすいよう、十分な駐車場・利用スペースを設けている。
Q1 室内環境	各階に空調機が設置されており、室内環境を整えている。
Q2 サービス性能	利用者が過ごしやすいよう十分な利用スペースを設けている。
Q3 室外環境(敷地内)	敷地内緑地計画を行っている。
LR1 エネルギー	省エネ基準に適合するよう設備機器等配慮している。
LR2 資源・マテリアル	断熱材に現場吹付け発泡ウレタン B種を使用している。
LR3 敷地外環境	敷地内に十分な駐車スペースを設けている。
その他	特になし。